

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	617	ごみ収集経費	01	01	一般会計
			04	04	衛生費
基本施策	24	ごみを減らす生活を送る	02	02	清掃費
			02	02	塵芥処理費
担当部課名	大山田支所生活環境課		101	101	ごみ収集経費
作成者氏名	福岡 兵悟	連絡先	47-1163	01	ごみ収集経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域住民		ごみの資源化、可燃ごみの減量、収集業務の適正化を図る。 資源循環型社会の構築する。
本年度事業内容	1 資源・ごみ収集 ① 資源・ごみ収集カレンダーを作成し、計画的なごみ収集の啓発と周知を図った。 ② ごみ分別ハンドブックを各家庭などに配布し、ごみの資源化・減量化の啓発を行った。 ③ 収集業務委託: 福田商事開発(株)、(有)白鳳清掃の2社に収集業務を委託。収集業務の適正化を図った。	
根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2		
人件費合計(A)	1,440	0	0
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	15,907	0	0
委託料	15,907		
その他			
合計(A+B)	17,347	0	0
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	17,347	0	0
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
資源・ごみ収集カレンダー作成	枚	1,800	1,800	1,800			
ごみ分別ハンドブック作成	冊	1,800	1,800	1,800			
ごみ収集業務委託	社	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
ごみ(可燃ごみ)減量比率 (当年度処理実績/前年度処理実績)	可燃ごみ前年度処理実績を分母とし、当年度処理実績を分子とする比率を指標とします。	%	100 目標 (95)	97	95
資源化比率 (資源化ごみ/ごみ処理量)	可燃ごみ、資源化ごみを合わせた処理量を分母とし、資源化ごみ処理量を分子とする比率を指標とします。	%	21 目標 (25)	22	25

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集経費について、平成18年度から本庁予算に統一。 合併協議で調整されていなかった、ごみ収集形態(収集回数、分別種類など)を平成19年度から統一する。
--

評価	有効性	4	・有効性: 平成19年度からごみ収集形態を統一。 ・達成度: 収集業務を統一し、市民サービスの向上を図る。 ・効率性: 収集業務に係る予算を本庁に統一。	総合評価
	達成度	4		
	効率性	4		A